

DM標準ファイルのDXF変換

DMcnvDXF

Windows Xp, Vista, 7

DMcnvDXFはDM標準ファイル([正規図郭DM][非正規図郭DM])という2種の地形データがあります)を図郭毎に、あるいは1枚図面としてDXF変換するものです。座標値としては平面直角数学座標で、図郭毎に、また一枚図面としてDXFファイルを出力します。また、図郭毎に左下隅を原点とした相対座標(いわゆる紙上の図面座標)でもDXFファイル出力できます。この時は縮尺を指定するか、実長をm単位で表わしたもの(縮尺1:1000と考えても同じです)の何れかとなります。

線データはポリラインで変換され、注記はTEXTまたは線形状(漢字ストロークによる線データ)の選択ができ、地図記号もPOINTまたは線形状(ストロークによる線データ)の選択ができます。注記は大抵の場合TEXT型が便利ですが、第二水準の漢字等はCADの側に用意されていない場合があります。地図記号や注記の縦書き、あるいは間隔を有する注記を、DMの白地図に忠実に変換しようとするれば<線形状>による他ありません。これらは実情に合わせて変換できます。

[DMcnvDXFの適用範囲]

対象となる地図データはDM標準ファイルです。

[正規図郭DM]: 直交格子の図郭で取得された縮尺1:2500等の都市計画系DM地図等

[非正規図郭DM]: 全国の河川事務所で作成されている、格子状でなく任意の向き、大きさの図郭で取得された縮尺1:2500等の河川系DM地図等

DM地形図の縮尺は1:2500のみならず、1:5000や1:10000も全て実行できます。測地系も世界測地系、日本測地系を問わず実行でき、座標系も問いません。地図データは1枚の図郭でも、600枚の図郭でもかまいません。複数の図郭を「一枚図面として変換」する際には同一座標系でなければなりません、同一座標系でさえあれば枚数に制限はありません。図郭毎の変換では座標系が異なっても構いません。

[DMcnvDXFと基盤地図情報]

平成20年4月から、国土地理院のサイトより「基盤地図情報ダウンロードサービス」が開始されました。

基盤地図情報は5m標高メッシュや1:25000地形図等、各種の地形データから成りますが、特筆すべきは白地図つまり都市計画基図と呼称される1:2500デジタルマッピング地形図をベースに作られた基盤地図情報を含んでいる、ということです。

このデータは下記の13種:

- (1) 測量の基準点 (2) 海岸線 (3) 公共施設の境界線(道路区域界) (4) 公共施設の境界線(河川区域界)
- (5) 行政区画の境界線 (6) 道路線 (7) 河川堤防の表法肩の法線 (8) 軌道の中心線 (9) 標高点 (10) 水涯線
- (11) 建築物の外周線 (12) 市町村の町・字の境界線 (13) 街区の境界線

から成るものですが、要約すると、道路線と建物形状、鉄道(軌道)、水涯線、行政区画といった謂わば「デジタルマッピング(DM)地形データ」の核心部分を含んでいます。DMcnvDXFは、このような「基盤地図情報」のDMファイルに対して、DXF変換が実行できます。

[1] 基盤地図情報(1:2500DM地形データ)のDXF変換

完全形ではありませんが、主要な項目を含んだ有用なDMデータです。DM標準ファイルに準じてDXF変換できます。

[2] 基盤地図情報(1:25000DM地形データ)のDXF変換

1:25000地形データを1:2500国土基本図の図郭割りに従って取り直した地形データです。日本全国を都道府県単位で網羅していて、海岸線、行政区画、道路線、軌道の中心線、等高線(標高点と表示されています)、水涯線から成ります。元が1:25000地形データですから、海岸線や等高線のような、広域の地形図に適しています。このDM形式データもDM標準ファイルに準じてDXF変換できます。

[動作環境]

OS: Windows Xp, Vista, 7

CPU: Pentium 300MHz以上を推奨

メモリ: 128MB以上を推奨

ハードディスク: プログラム部1MB

ディスプレイ: 1024x768ドット以上を推奨

(インストールにCDドライブが必要です)

価格 9,500円 + 税

ムーエス株式会社 〒150-0013

東京都渋谷区恵比寿2-14-19

Tel: 03-3446-8456 Fax: 03-3446-8073

E-mail: info@mues.co.jp

URL=<http://www.mues.co.jp>